

2022 年 2 月_中古車市場の動向

■オークション市場の動向

▪ 出品台数

2 月のオークション出品台数は前年同月比 1 割弱の減少となり、7 ヶ月連続のマイナスとなった。
半導体不足や新型コロナウイルス感染症による部品供給の停滞が依然続き、工場稼働停止や生産調整のため新車の供給が滞り下取り車両の流通が少なく、各会場の出品車両の集荷に多大な影響を及ぼしている。
下取り車両の減少は当面続き、タマ不足の解消には相当な時間を要するであろう。

▪ 落札台数

2 月の AA 落札は、前年同月比 1 割程度の減少となり、2 ヶ月連続でマイナスとなった。
昨年夏場よりのタマ不足は依然続き、各会場とも高成約率と相場高騰により落札しづらい状況が継続。

▪ AA ワンプラ落札台数

2 月の AA ワンプラ落札は、前年同月比の 3 割程度の減少で 6 ヶ月連続のマイナスとなった。
オークション出品台数の減少や高成約率と相場高騰が影響し AA ワンプラへの出品台数の減少が深刻となっている。今後も出品台数の確保は厳しい状況であろう。

■共有在庫市場の動向

▪ AS ワンプラ（共有在庫）出品台数

2 月末現在の出品台数は、1 月末に比べ 0.2 万台程度のマイナスとなり厳しい状況が続いている。3 月に入り 0.3 万台程度の回復となっているが、今後の出品台数の動向から目が離せない。

▪ AS ワンプラ（共有在庫）落札台数

2 月の AS ワンプラ落札は、前年同月を僅かに上回り、6 ヶ月連続でのプラスを維持した。
オークション会場での落札が容易ではない状況もあり、2 月もなんとか数字を確保した。中古車市場も共有在庫（ワンプライス）からの仕入れが多くなったとはいえ、今後も出品台数の動向に注視したい。